

# 小野町 結婚支援



現在、日本の生涯未婚率(50歳までに一度も結婚したことがない人の割合)は男性が23%、女性が14%となっており、実に男性の約4人に1人、女性の約7人に1人の割合が未婚となっています。

これは10年前より男女共に約3%増えており、人口減少、少子化の流れに拍車をか

ける実態が読み取れます。(平成27年国勢調査より)

町では、こうした人口減少や少子化対策のひとつとして、結婚支援に取り組んでいます。結婚支援では『結婚世話やき人制度』と『若者の人材育成と出会いの創出事業』という2つの支援を実施しています。

## 『結婚世話やき人制度』とは？

結婚世話やき人とは、独身男女の掘り起こしや結婚への機運を高めることを目的として活動する方々で、現在16人の地域ボランティアが活動しています。(詳細については町公式ウェブサイトをご覧ください)

平成29年度は、2月16日と3月16日に結婚世話やき人を対象とした現在の結婚に対する意識や課題、相談のあった方々に対するマッチングの方法などの研修会を行い、情報交換会では今後の活動内容や相談件数増加に向けた話し合いを行いました。また2月24日には独身のご子息、ご息女がいらっしゃる親御さんを対象とした婚活セミナーが開かれました。講師には名古屋市を拠点に活動する婚活スペシャリストの渡邊和美さんを迎え、結婚に対する親御さんの意識や地域の意識、結婚をしない理由に着目し結婚できるポイントを講演いただきました。まずは、婚活に対するマイナスイメージを地域で払拭できるような努めることが大事とのアドバイスがありました。



婚活セミナーの様子

## 『若者の人材育成と出会いの創出事業』とは？

若者の人材育成と出会いの創出では、町内や近隣市町村に住む若者を対象に地域未来大学と称し、オープンゼミを開催しました。第1回は1月16日に小野町出身の落語家林家彦星さんを迎え「落語の世界に飛び込んで」をテーマにいくつかの噺を披露いただき、集まった同世代の若者と落語界への入門のきっかけや今後の目標、故郷の小野町に望むことなどをお話しいただきました。



林家彦星さんによる噺

第2回は1月22日に「男と女のコミュニケーション術」をテーマに渡辺久美子さんを講師に迎え、ビジネスやプライベートにおけるコミュニケーションの方法をディスカッション形式で行いました。

平成30年度もさまざまな結婚支援の企画を予定しています。ぜひ足をお運びください。